

【大阪ガス—マツゲン箕島】四回裏マツゲン箕島2死一塁、竹中（右）が二塁盗塁を決める

—京都市のわかさスタジアム京都で



マツゲン箕島敗退

第4代表決定！大ガスに0—2

都市対抗野球

近畿2次予選

第96回都市対抗野球大会近畿地区2次予選（日本野球連盟近畿地区連盟、毎日新聞社主催）は7日、京都市のわかさスタジアム京都で第4代表決定トーナメント2回戦の2試合

があった。

大阪ガス（大阪市）はマツゲン箕島（有田市）との投手戦を2—0で制し、日本新薬（京都市）は中盤の大量点などでアスミビルタース（神戸市）に12—2でコールド勝ちした。

勝者は11日に予定される第4代表決定トーナメント3回戦に進

み、敗者は今大会からの敗退が決まった。

【矢倉健次、栗林創造】

▽第4代表決定トーナメント2回戦

大阪ガス

1000010000002
00000000000002

マツゲン箕島

（大）本間、大宮、戸高、高橋（中）近藤、川畑、石原、中田、坂本、湯浅、宮崎、三

島、清水（大）▽二塁打

島、橋本（大）湯浅（マ）

大阪ガスは一回、梶

田の死球と二盗で2死

二塁とし、清水の適時

三塁打で先制。五回は山川の犠飛で加点了。本間は速球に力があり8回を被安打3の好投。大宮が締めた。マツゲン箕島は三回、無死二塁の好機で犠打失敗が痛かった。

粘り 成長の糧に

○：惜しまれる三回の攻撃だった。マツゲン箕島は、先頭の湯浅公貴が二塁打を放ったものの、犠打失敗と併殺打で得点ならず。西川忠宏監督は「あそこ

で同点にしていれば」と振り返った。「最年長が4年目で、1年目の選手が13人いる（西川監督）という若いチーム。監督は今回の都市対抗予選を「都市対抗にかける企業の思い。その辺りの考え方がうちはまだ……」と総括した。とはいえ、この試合のスコアは0—2。5投手の継投で都市対抗優勝経験のあるチームに最後まで食らいついた経験を、ステップアップの糧にしたいところだ。